

## 総務建設農政常任委員会視察研修

### バイオマス発電、ゼロカーボンシティの取組について 北海道 上士幌町

総務建設農政常任委員会では、10月4日・5日に北海道 上士幌町のバイオマス発電による脱炭素と地域経済の調和、ゼロカーボンシティの取組について調査してまいりました。

北海道 上士幌町の人口は2022年6月末現在4千949人で、総面積は696平方キロメートルと東京都23区より広く、酪農や畜産が中心の町であります。食料自給率は3千500%、バイオガス発電自給率は100%、乳牛2万頭を擁し年間の生乳生産量は13万7千トンにも及びます。

上士幌町は持続可能な社会づくりを目指し、畜産バイオガス発電による、環境と調和したエネルギーの地産地消を実現したビジネスを展開し「停電しない町」の目標を掲げております。事業内容としては、畜産バイオマスプラントを6箇所整備し、酪農・畜産農家から糞尿を買い取り発酵させることによりバイオガスを発生させ、指定管理者である株式会社上士幌町資源循環センターがそのガスを利用して発電し、北海道電力への売電や観光地域商社の株式会社 K a r c h が運営する「か

みしほろ電力」への電力供給をしております。

「かみしほろ電力」は、上士幌町がゼロカーボンシティの実現を目指し、JAの融資により設立したもので、町内の太陽光発電やバイオガスプラント等で発電された電力を基に、町内公共施設や上士幌町農業協同組合関連施設の一部及び、町内の一般家庭にも電力を供給しており、再生可能エネルギー地産地消の仕組みを実現し地域活性化に務めております。

今後もエネルギーの地産地消等、持続可能な社会作りについて調査研究してまいります。



## 教育福祉常任委員会視察研修

### 農福連携事業の取組について 千葉県富津市 NPO 法人 AionAion

教育福祉常任委員会では、11月9日、千葉県富津市において就労継続支援 B 型事業所を運営する NPO 法人 AionAion を訪問し、農福連携の取組について視察研修を行ってまいりました。

現在、障がいのある方の就労継続支援施設等は全国に1万1千箇所あり、30万人の方が働いています。しかし、働いて受け取る工賃の全国平均は月額1万5千円と低いうえに、企業への就労率も低く、自立した生活を送ることは難しい状況であります。さらに福祉施設で働く職員の給料も安く、福祉事業従事者のワーキングプアの問題など多くの社会課題が存在しております。

この社会課題を解決し、知的障がいのある方々の経済的自立の道を開くために、NPO 法人 AionAion は次のような取組を行っております。同法人のオーキッドガーデンにおいて、障がいのある方を胡蝶蘭栽培のプロフェッショナルに育てあげ、一般企業への就職を支援します。雇用した企業は、同法人の貸農園において胡蝶蘭の栽培をはじめ、企業に就職した

方は、企業が借りた同法人の農園に向向することで、今までと環境を変えずに胡蝶蘭の栽培を続けることができます。雇い主である企業は胡蝶蘭を自社栽培したことになり、企業における障がい者法定雇用率の達成にもつながります。

このような NPO 法人 AionAion の農福連携の取組は、今後障がいのある方の雇用問題を解決する上で重要性が増してくるから、当委員会では今後も調査研究してまいります。



編集発行：茨城県境町議会広報編集委員会

委員長 枝 史子 委員 渡邊 昇

副委員長 染谷 直人 委員 青木 輝明

〒306-0495 境町 3 9 1-1  
TEL 0280-81-1316 FAX 0280-87-5873  
<http://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp>